



4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	○			
	縮小	/			
	廃止	/			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>身体発育及び精神発達面からも重要な時期である1歳8か月児に対して、小児科医師、歯科医師、発達相談員、保健師、栄養士、歯科衛生士等による総合的な健康診査を実施することは、幼児の健康の保持・増進を図る上で大変重要である。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>健診時の待ち時間を少なくするため、受診していただく時間を分けたり、問診や指導については工夫をこらしてきました。今後も限られた時間であったとしても、一人ひとりにきめ細かい対応ができるようなお一層の努力をしていきたい。</p>